文字入力

「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。
PDF版「区点コード一覧」をご覧になるには、Adobe® Reader®が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、同CD-ROM内のAdobe® Reader®をインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細につきましては、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

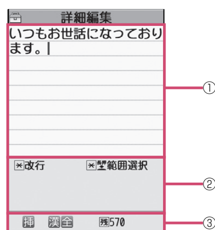
文字入力について

FOMA端末には文字の入力方式として、「かな方式」「2タッチ方式」「T9入力方式」の3方式が用意されています。ここでは、「かな方式」での文字入力を中心に説明します。

● 文字入力方式の設定、およびそれぞれの入力方式の特徴と入力方法については、次の項目をご覧ください。
「上書きモード／挿入モードを切り替える」→P.429
「かな方式で文字を入力する」→P.429
「2タッチ方式で文字を入力する」→P.438
「T9入力方式で文字を入力する」→P.438

文字入力（編集）画面について

文字入力（編集）画面は①文字入力エリア、②操作ガイダンスエリア、③情報表示エリアで構成されています。各エリアに表示されるアイコンの意味は以下のとおりです。



文字入力（編集）画面（サブメニュー→P.433）

① 文字入力エリア

アイコン	説明
|	カーソル（文字入力位置）
◀	エンドマーク（文字終了位置）

② 操作ガイダンスエリア

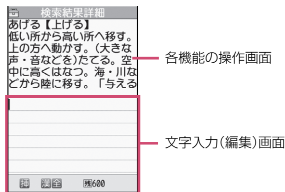
アイコン	説明
▲▼変換	[↕]で変換できるときに表示
▲▼全件 ▲▼検索	[↕]で電話帳検索ができるときに表示
◀▶ ▲▼領域	文字コピー（切り取り）または定型文登録の範囲選択時に表示
[*]改行	[*]で改行できるときに表示
[*]あ／ぁ゛゜	[*]で入力した文字の小文字／大文字切り替えができるとき、または濁点／半濁点が付けられるときに表示
[#]AA→aa	[#]を押してCapsLockモードを解除できるときに表示→P.432
[#]aa→Aa	[#]を押してShiftモードにできるときに表示→P.432
[#]Aa→AA	[#]を押してCapsLockモードにできるときに表示→P.432
[*]長押範囲選択	[*]（1秒以上）で範囲選択ができるときに表示
[#]長押貼り付け	コピーまたは切り取りした文字があり、[#]（1秒以上）で貼り付けができるときに表示
[メール]長押デコメピクチャ挿入	メール本文入力中などに[メール]（1秒以上）でデコメ®ピクチャが入力できるときに表示
[✓]逆順	文字を入力中に[✓]で前の読みに戻せるときに表示（例：え→う）
[✓]デコレーション	メール本文入力中などに[✓]でデコメール®の作成ができるときに表示

③ 情報表示エリア

アイコン	説明
2 T9	文字入力方式（2タッチ方式／T9入力方式）を表示（かな方式は表示なし）
挿 上	挿入モード／上書きモード
漢 カ 英 数	入力できる文字種
区	区点入力モード→P.435
全 半	全角モード／半角モード
小	小文字入力モード
Shift CAPS LOCK	Shiftモード／CapsLockモード→P.432
残	入力可能な残りバイト数（半角文字：1バイト、全角文字：2バイト）
入	ドコモUIMカードの電話帳、SMS本文入力時に、入力済み文字数を表示

分割画面について

辞典参照編集など、画面によっては各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示される場合があります。



●以下の場合に、各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されます。
- 文字編集から辞典検索を実行後の参照編集
- クイック検索画面からの直接入力

● 操作する画面の切り替えかた

各機能の操作画面と文字入力（編集）画面が同時に表示されているときは、サブメニューから「ウィンドウ切替」を選択すると、操作する画面を切り替えることができます。

文字入力方式を設定する

3つの文字入力方式（かな方式、2タッチ方式、T9入力方式）のうち、利用する入力方式を設定します。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「入力方式切替」▶文字入力方式を選択

おしらせ

◆文字の入力中に文字入力方式を切り替えることもできます。✉［文字切替］を1秒以上押すか、サブメニューから「入力設定」▶「入力方式切替」を選択します。

文字入力サイズを切り替える

文字入力（編集）画面の文字サイズを「小、中、大、特大」の4種類から選択します。
「文字の設定を変える」→P.120

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「フォント設定」▶「文字サイズ」▶「個別設定」▶「文字入力」▶入力サイズを選択▶📷［完了］

予測機能（学習辞書）を設定する

予測機能（学習辞書）を利用するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- ●お買い上げ時にはあらかじめ予測候補が登録されています。
- ●予測機能（学習辞書）での文字の入力方法について→P.429

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「ワード予測（学習辞書）」▶「ON」または「OFF」

上書きモード／挿入モードを切り替える

文字入力

文字を入力する際に「上書きモード」にするか、「挿入モード」にするかを設定します。「上書きモード」ではカーソルより後の文字が上書きされ、「挿入モード」ではカーソルの前に文字が挿入されます。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「挿入／上書き」▶「挿入」または「上書き」

おしらせ

◆メールの本文入力画面では、本設定は反映されず挿入モードに設定されます。

かな方式で文字を入力する

かな方式

1つのダイヤルボタンを何回か押し、1つの文字を入力します。たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、1を3回押します。
- ●文字割り当ての詳細については、「かな方式で入力できる文字」（P.499）をご覧ください。

漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字を入力する

ひらがなの読みを入力し、それを漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字など、目的の文字に変換します。

● 予測機能を利用して入力する

予測機能には、1文字入力するだけでその文字に対する用語を予測する機能や、選択した用語に続く用語を予測する機能があります。このため、少ない文字入力で簡単に文字を入力できます。

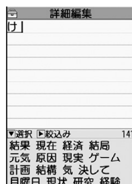
＜例：「携帯電話」と入力する場合＞

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢 全）」になっていない場合は、✉［文字切替］▶「漢字」で切り替えます。

2 読みの一部を入力

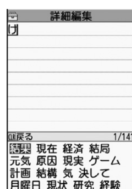
2を4回
け



文字入力エリアに「け」が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、1文字入力しただけで、その文字に対する用語を先読みし、「予測候補」が表示されます。

3 ▢

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、予測候補が選択できるようになります。



■ 入力したい文字が予測候補にない場合

▶CLR

読みの入力に戻ります。読みの続きを入力すると、予測候補も変更されます。または変換機能を利用します。

「入力したひらがなを変換する」→P.431

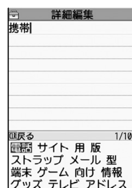
4 予測候補を選択

▶「携帯」を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。また、操作ガイダンスエリアには、選択した用語に続く予測候補が表示されます。

5 ▢▶次の予測候補を選択

▶「電話」を選択



■ 予測候補表示を閉じる場合

▶MENU［閉］

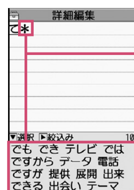
おしらせ

◆予測候補には、よく使う顔文字、絵文字なども表示されます。
◆漢字ひらがな、英字入力モード以外では予測候補は表示されません。
◆学習機能により、一度入力した用語は予測候補に追加されます。追加された予測候補は、反転しCLRを1秒以上押すと削除できます。
すべての予測候補の学習履歴を削除する場合は、「学習履歴クリア」で予測機能の学習履歴をクリアします。
◆シークレットモード、シークレット専用モードのときに入力した文字は、予測候補に登録されません。

● 予測候補の絞り込みをする

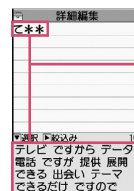
予測候補が表示されているときに▢［絞込み］を押すことで、予測候補の絞り込みをすることができます。

1 文字を入力して、▢［絞込み］を押す



＊が表示され、「て」から始まる2文字以上の予測候補に絞り込みます。

2 ▢［絞込み］または▢を押して予測候補の文字数を調整する

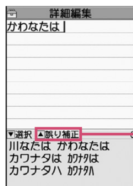


＊の数が変動し、文字数に応じた予測候補が表示されます。

● 誤り補正を利用する

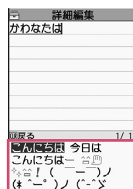
同じボタンに割り当てられた文字の入力を間違えたときは、間違いを補正した変換候補を、予測候補に表示させることができます。
＜例：「こんにちは」の入力を間違えた場合＞

1 **[2][0][5][4][6]と続けて入力する**



表示があるときに使用できます。

2 **[誤り補正]を押す**

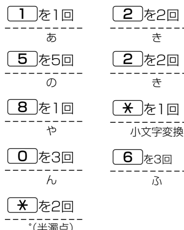


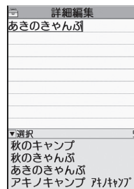
誤り補正をした変換候補が予測候補に表示されます。

● 入力したひらがなを変換する

予測候補に目的の用語が表示されないときや、予測機能をOFFに設定しているときは、入力したひらがなを目的の用語に変換します。
＜例：「秋のキャンプ」と入力する場合＞

1 **ひらがなを入力**





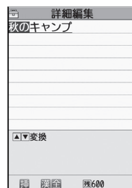
■ ボタンを押し間違えた場合
▶[CLR]で文字を削除

■ ボタンを押す回数を間違えた場合
▶
同じボタンに割り当てられた1つ前の読みに戻ります。

■ ひらがなで確定する場合
▶[■]［確定］

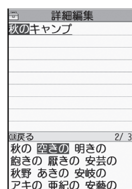
2 **入力した文字を編集する**

▶[変換]で漢字やカタカナなどに変換
最初の文節の変換候補が反転表示されます。



■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されている場合
▶[■]［確定］
変換候補が確定し、次の文節が反転表示されます。

■ 変換候補に目的の漢字やカタカナなどが表示されていない場合
▶[変換]で変換候補を表示▶変換する文字を選択
反転表示している文節の変換候補、予測候補が表示されます。変換候補にはひらがなとカタカナも表示されます。



■ 変換範囲を変更する場合
▶[◀▶]で変換範囲を変更
変換した範囲に応じて変換候補も変更されます。

■ 英数カナ変換候補を表示する場合
▶[カメラ]［英数カナ］
入力したボタンに対応する英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。たとえば[2][3]（かさ）[カメラ]［英数カナ］と押すと、「AD」「23」「カサ」などの変換候補が表示されます。
2～4桁の数字を入力すると、日付や時刻として表示可能な数字は、日付や時刻などの変換候補も表示されます。
- 10/19
- 10月19日
- 10:19
- 10時19分
- 1019年

おしらせ

◆変換候補、予測候補に記号、絵文字、顔文字が表示された場合は、それらの文字に変換することもできます。
変換できる記号、絵文字、顔文字の読みについては以下の一覧をご覧ください。
- 「変換記号読み一覧」→P.502
- 「絵文字読み一覧」→P.503
- 「顔文字読み一覧」→P.507

◆日時に関する読み（「ことし」「きょう」「いま」など）を入力すると、現在の日時に対応した変換候補も表示されます。

◆記号、絵文字、スペース、改行の入力など、その他の入力操作については、「入力を補助する便利なボタン」（P.432）をご覧ください。

◆変換できない漢字は区点コードを使って入力できます。→P.435

● 文字数とスクロールについて

■残文字数、入力済み文字数について

文字入力（編集）画面の文字数は以下の規則に従ってカウントされます。
- 文字数は、半角1文字が1バイト、全角1文字が2バイトとしてカウントされます。
- 半角文字の濁点「゛」と半濁点「゜」は、1文字分としてカウントされます。

各文字入力（編集）画面では、その機能で入力可能な文字数最後の印としてエンドマーク「◀」が表示されるので、入力の目安にしてください。

■スクロールについて

文字入力（編集）画面では、[▲▼]で行単位、[▼][☼]、[▲][マナー]でページ単位のスクロールができます。
変換候補、予測候補では[▼][☼]、[▲][マナー]でページ単位のスクロールができます。

● 入力中、編集中のデータ保護について

文字入力（編集）画面で文字を入力しているときに電池が切れたり、音声電話がかかってきても、入力した文字は消えずに保持されます。

■電池が切れた場合

文字の入力中に電池切れアラームが鳴った場合は、文字入力（編集）画面から「電池充電してください」というメッセージ画面に切り替わります。このとき、入力中の文字は自動的に確定して保存されるので再度電源を入れてその機能を呼び出すと、続きを入力できます。ただし、入力内容が保存されない機能もあります。また、変換中や未確定の文字は保存されません。
電話帳の再編集について→P.92

■[終話]を押した場合

文字の入力中に[終話]を押した場合は、文字の入力を終了するかどうかのメッセージが表示されます。ただし、文字を1文字も入力していない場合、メッセージは表示されません。

<入力中の内容を保存しないで終了する場合>

「YES」を選択します。入力した文字を保存せずに、入力前の画面または待受画面に戻ります。
[終話]を押しても、入力した文字を保存しないで入力画面を終了します。

<文字の入力を続ける場合>

「NO」を選択します。入力したデータはそのままで文字入力（編集）画面に戻ります。
[CLR]を押しても文字入力（編集）画面に戻ります。

■音声電話がかかってきた場合

文字の入力中に音声電話がかかってきても、入力中の文字をそのままにして音声電話に出ることができます。通話を終了すると、文字入力（編集）画面に戻ります。音声通話中に[MULTI]でTASK MENU画面を表示させて、通話しながら文字入力（編集）画面に戻ることもできます。→P.394

その他の入力機能

文字入力（編集）画面を表示中に文字入力方式を切り替えたり、記号や絵文字などを入力するときは、サブメニューだけでなく、便利なボタンを利用できます。

● 入力を補助する便利なボタン

ボタン	説明
[✉][文字切替]	●かな方式、T9入力方式では、[✉][文字切替]を押すと文字種切替画面が表示され、項目を選択すると文字種が切り替わります。 ●2タッチ方式では[✉][文字切替]を押すたびに、全角／半角が切り替わります。 全角→半角
[✉][文字切替]（1秒以上）	文字入力方式を切り替えます。 [✉][文字切替]（1秒以上）を押すたびに、次のように切り替わります。 かな方式→2タッチ方式→T9入力方式
[i][絵記]	絵文字や記号を連続して入力したり、顔文字やURLを入力します。 一覧表示中は、[✉]または[i]を押してタブ表示を切り替えることができます。 ※ デコメ絵文字®は利用できるときのみ表示されます。 連続入力を終了するときは[CLR]を押します。 ●[i][絵記]を押したあと、デコメ絵文字®が利用できる場合、[📷][カテゴリ]を押すとカテゴリ別デコメ絵文字®入力画面が表示されます。 →P.151

ボタン	説明
[MENU] ［デコメ］	入力した読みがデコメ絵文字®に変換できる場合に[MENU]［デコメ］を押すと変換候補のデコメ絵文字®が表示されます。→P.151 入力した読みがデコメ絵文字®に変換できない場合は[MENU]［デコメ］▶[MENU]［候補追加］でよみがなをデコメ絵文字®に追加することができます。 →P.151
[カメラ] ［音声入力］	音声を文字に変換して入力します。→P.439
[＊]	●文字の変換確定後は、改行マーク「↲」を入力し、カーソルを次の行に移動します（数字入力モード以外）。 ●かな方式、2タッチ方式では「濁点／半濁点」の入力や、入力した文字の「大文字／小文字」の切り替えが行えます。 ●改行マーク「↲」は文字と同じように削除したり上書きできます。
[＊] （1秒以上）	文字の装飾やコピー、切り取り、定型文登録、単語登録の範囲を選択します。
[□]	カーソルが文末にあるとき、[□]を押すとスペースが入力され、[□]を押すと改行マークが入力されます。
[＃]	●T9入力方式の英字入力では押すたびに、大文字／小文字の入力モードが次のように切り替わります。 モード解除→Shiftモード→CapsLockモード ・モード解除：すべて小文字で入力されます。 ・Shift モード：モードを切り替えた直後の1文字のみ大文字で入力され、以降は小文字で入力されます（Shift モードが解除されます）。 ・CapsLockモード：すべて大文字で入力されます。 ●T9入力方式ではかな入力と漢字入力を切り替えます。
[＃] （1秒以上）	コピーまたは切り取りした文字を貼り付けます。
[クリア]	●かな方式で文字を入力中に、前の読みに戻します。（例：え→う） ●デコメール®が作成できる場合、デコレーションメニューが表示されます。→P.153
[クリア] （1秒以上）	文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。

おしらせ

<[i]［絵記］>

◆絵文字、デコメ絵文字®、全角記号、半角記号それぞれの画面の先頭の行に、過去に入力した絵文字・記号が表示されます。

◆メールアドレスの登録画面、iモードメールの宛先入力画面、URLの入力画面などでは全角記号を入力できません。

サブメニュー

❖文字入力（編集）画面（P.428）

音声で文字入力…P.439

コピー、切り取り、貼り付け…P.435

データ引用／入力…P.434

辞典検索…辞典を呼び出し、単語の意味などを検索します。→P.417

入力設定…文字入力について設定します。

- **入力方式切替**…文字入力方式（かな方式、2タッチ方式、T9入力方式）を切り替えます。
- **自動カーソル移動**…かな方式（漢字モード）で文字を入力中、1文字入力するごとに自動でカーソルを右に移動するように設定します。
  - 速い…約0.5秒後にカーソルが右に移動します。
  - 普通…約1.0秒後にカーソルが右に移動します。
  - 遅い…約1.5秒後にカーソルが右に移動します。
  - OFF…自動でカーソルを移動しません。
- **ワード予測**…予測機能（学習辞書）を利用するかしないか（ON、OFF）を設定します。
- **T9かな／漢字切替**…T9入力方式で文字を入力するとき、入力した文字を漢字に変換するか、かなに変換するか（漢字、かな）を設定します。
- **挿入／上書き**…入力中のモードを一時的に（挿入、上書き）に切り替えます。
  文字入力（編集）画面を表示したときは、「文字入力」で設定したモードになります。→P.429
- **文字サイズ**…文字入力（編集）画面の文字サイズ（小、中、大、特大）を設定します。
- **定型文登録**…定型文を登録します。→P.434
- **単語登録**…単語を登録します。→P.437

JUMP（文頭／文末）…カーソルを文頭または文末へ移動します。

元に戻す…文字の変換・貼り付け・切り取りなどの操作を1つ前の状態に戻します。5回まで戻せます。

ウィンドウ切替…分割画面が表示されているとき、操作する画面を切り替えます。→P.429

おしらせ

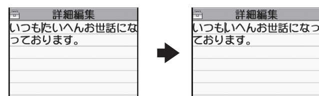
<入力方式切替>
◆郵便番号の入力など、特定の項目の文字入力（編集）画面では文字入力方式を切り替えられない場合があります。
◆文字の入力中に[メール]［文字切替］を1秒以上押しても、押すたびに「かな方式→2タッチ方式→T9入力方式」のように切り替えられます。

<自動カーソル移動>
◆本機能は、数字入力モード以外で有効です。
◆カーソルが移動したあとでも、[＊]を押して入力した文字の小文字／大文字の切り替え、または濁点／半濁点を付けることができます。

<ワード予測><T9かな／漢字切替><挿入／上書き>
◆設定は現在の文字入力（編集）画面でのみ有効です。次に文字入力（編集）画面を表示したときには、「ワード予測（学習辞書）」（P.429）、「T9かな／漢字切替」（P.439）、「挿入／上書き」（P.429）のそれぞれの設定に戻ります。

文字を削除する

[方向キー]で削除したい文字の前にカーソルをあわせ、[CLR]を短く（1秒未満）押します。カーソルの右側の文字が削除されます。



■カーソルの右側に文字がない場合
カーソルの左側の1文字が削除されます。

■[CLR]を1秒以上押した場合
カーソルの右側にあるすべての文字が削除されます。

■カーソルより右側に文字がないときに[CLR]を1秒以上押した場合
すべての文字が削除されます。

定型文や電話帳やプロフィールなどから引用して入力する

メール、サイト、メモなどの文字入力（編集）画面で、「定型文」「電話帳」「プロフィール」の内容や区点コードやバーコードリーダーからの読み取ったデータを利用できます。

● データ引用機能を利用する

●引用できるのは、名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、住所、位置情報、誕生日、メモ、ｉコンシェル 住所、ｉコンシェル URL、ｉコンシェル メモです。
●一部の文字入力（編集）画面では引用できません。

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶[MENU]［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶以下の項目から選択

定型文…P.434
区点…P.435
電話帳…電話帳を検索して目的の電話帳を表示し、引用するデータを選択して入力します。
電話帳検索のしかた→P.93
プロフィール…引用するデータを選択して入力します。
バーコードリーダー…P.411
位置情報…位置情報URLを本文に貼り付けます。
- **現在地確認**…現在の位置情報を取得し貼り付けます。
- **位置履歴**…確認した位置情報の履歴から貼り付けます。
- **電話帳**…電話帳を検索し、電話帳に登録されている位置情報から貼り付けます。
- **プロフィール**…プロフィールに登録されている位置情報から貼り付けます。

おしらせ

<プロフィール>
◆住所情報を引用する際、項目間に空白が入る場合があります。
◆所有者情報の誤入力により生じる問題については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 定型文を入力する

●お買い上げ時に登録されている「固定定型文」は、入力モードによって「漢字ひらがな」または「半角カタカナ」のどちらかで入力されます。
●定型文の修正／登録について→P.436

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶[MENU]［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶「定型文」▶フォルダを選択

2 定型文を選択▶[■]［選択］

おしらせ

◆定型文は以下のような文字入力（編集）画面で利用できます。
- メモの詳細編集
- ｉモードメールの題名／本文
- ｉモードメールの冒頭文／署名／引用符
- メール検索の題名入力
- 自動振分け設定の題名入力
- 定型文フォルダ名／定型文編集
- アラームタイトル編集

・ウェイクアップのメッセージ編集
・iモードのテキストボックスでの編集
・iアプリでの文字編集
・パスワードの入力
・辞典検索語入力

◆パスワード入力画面で定型文を入力した場合、入力された文字は「＊」で表示されます。

◆セキュリティフォルダ内の定型文を選択した場合、タイトル名ではなく、タイトルに関連付けられている定型文が入力されます。

● 区点コードで入力する

区点入力

4桁の区点コードを使って漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力します。

●区点コードおよび区点コードで入力できる文字については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

●画面の表示は区点コード一覧表の文字や記号と異なる場合があります。

<例：「慶」（区点コード2336）を入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶MENU［サブメニュー］▶「データ引用／入力」▶「区点」

「区点入力モード」に切り替わり、情報表示エリアに「区」が表示されます。

2 区点コード 2 3 3 6 を入力

入力した区点コードに対応した文字（ここでは「慶」）が入力され、元の入力モードに戻ります。

■ 入力した区点コードに対応する文字がない場合

スペースが入力されます。

文字のコピー／切り取り／貼り付け

●コピーまたは切り取りによって記憶できるのは1件のみです。新しくコピーまたは切り取りすると前に記憶していた文字は上書きされます。

文字をコピー（または切り取り）する

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶＊（1秒以上）

2 コピーまたは切り取りする先頭の文字の前にカーソルを移動▶■［始点］

3 コピーまたは切り取りする終わりの文字までカーソルを移動▶■［終点］▶「コピー」または「切り取り」

選択した範囲の文字が記憶されます。全角5,000文字、半角10,000文字まで記憶できます。

サブメニューから「コピー」または「切り取り」を選択してもコピーや切り取りができます。

■ 切り取りした場合

選択した範囲の文字が削除されますが、FOMA端末には記憶されています。

おしらせ

◆予測候補が表示されているとコピーや切り取りはできません。

文字を貼り付ける

●コピーまたは切り取った文字は、次にほかの文字をコピーしたり、切り取ったり、電源を切るまで、何度でも貼り付けることができます。

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶貼り付けする位置にカーソルを移動▶#（1秒以上）

サブメニューから「貼り付け」を選択しても貼り付けることができます。

おしらせ

◆コピーまたは切り取った文字がない場合は利用できません。

定型文や単語を登録する

定型文／単語登録

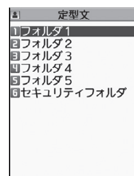
新しい定型文を作成する

よく使う言葉をあらかじめ登録しておき、文字入力の際に呼び出して入力します。
セキュリティフォルダにはサイトなどのパスワード入力画面で入力するパスワードを、あらかじめ定型文として登録することができます。

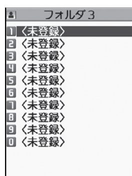
- セキュリティフォルダの定型文の利用方法について→P.405
- 定型文は6つのフォルダに分けて保存されます。
  フォルダ1～2には、あらかじめ固定定型文がそれぞれ10件登録されています。
  フォルダ3～5、セキュリティフォルダには自作の定型文をそれぞれ10件まで登録できます。
- 固定定型文も修正できます。ただし、入力モードによる「漢字ひらがな／半角カタカナ」の自動判別入力は行われません。修正された内容で入力されます。
- セキュリティフォルダ以外のフォルダ名を変更して定型文を目的別に分けることもできます。

1 **MENU▶「便利ツール」▶「定型文／単語登録」▶「定型文」▶フォルダを選択**

セキュリティフォルダを選択した場合は、端末暗証番号を入力します。



定型文フォルダ一覧画面



定型文一覧画面

左画面：サブメニュー→P.436
右画面：サブメニュー→P.436

■ **メールから起動する場合**
▶MENU▶「メール」▶「メール設定」▶「定型文／単語登録」

■ **定型文の内容を変更する場合**
▶変更したい定型文を反転▶📷［編集］

■ **文字入力（編集）から登録する場合**
▶文字入力（編集）画面（P.428）▶＊（1秒以上）▶定型文登録する先頭の文字の前にカーソルを移動▶■［始点］▶定型文登録する終わりの文字までカーソルを移動▶■［終点］▶定型文登録▶フォルダを選択

2 **「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶定型文を入力**

■ **セキュリティフォルダの場合**
▶「<未登録>」を反転▶📷［編集］▶定型文を入力▶タイトルを入力

■ **文字入力（編集）から登録する場合**
▶「<未登録>」を反転▶■［選択］

おしらせ

◆メール用の定型文に絵文字を使用することもできます。
◆文字入力（編集）から登録する場合、予測候補が表示されていると定型文登録できません。

サブメニュー

❖定型文フォルダ一覧画面（P.436）

フォルダ名編集…選択したフォルダの名前を変更します。
フォルダ名初期化…お買い上げ時のフォルダ名に戻します。
iC全送信…P.379
赤外線全送信…P.378
※ セキュリティフォルダではサブメニューは利用できません。

サブメニュー

❖定型文一覧画面（P.436）

編集…選択した定型文を編集します。
iC送信※…P.379
赤外線送信※…P.378
1件削除、全削除…登録した定型文を削除します。
※ セキュリティフォルダのときは利用できません。

おしらせ

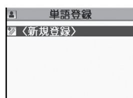
<1件削除、全削除>
◆フォルダ1またはフォルダ2の定型文を削除すると、お買い上げ時の定型文に戻ります。

よく使う単語を登録する

よく使う単語に好きな読み(ひらがな)を付けて単語登録します。文字入力(編集)画面でその読みを入力して変換できるようにします。

●単語は100件まで登録できます。

1 MENU▶「便利ツール」▶「定型文/単語登録」▶「単語登録」



単語登録画面(サブメニュー→P.437)

■ メールから起動する場合
▶MENU▶「メール」▶「メール設定」▶「定型文/単語登録」

■ 文字入力(編集)から登録する場合
▶文字入力(編集)画面(P.428)▶✱(1秒以上)▶単語登録する先頭の文字の前にカーソルを移動▶■[始点]▶単語登録する終わりの文字までカーソルを移動▶■[終点]▶単語登録

2 「<新規登録>」▶単語を入力▶読みを入力

■ 単語の内容を確認する場合
▶確認する単語を選択

■ 単語の内容を変更する場合
▶変更したい単語を反転▶📷[編集]

■ 文字入力(編集)から登録する場合
▶「<新規登録>」▶選択した範囲の単語を再編集▶読みを入力

おしらせ

◆登録した単語は予測機能でも入力できるようになります。

◆文字入力(編集)から登録する場合、予測候補が表示されていると単語登録できません。

サブメニュー

❖単語登録画面(P.437)

編集…登録した単語を編集します。

iC送信、iC全送信…P.379

赤外線送信、赤外線全送信…P.378

microSDへコピー…P.366

削除…「1件削除、選択削除、全削除」から選択します。

学習履歴を初期状態に戻す

学習履歴クリア

一度入力した文字列を自動的に記憶し、予測候補にする機能(学習履歴)をクリア(お買い上げ時の初期状態に戻す)します。

1 MENU▶「本体設定」▶「文字表示/入力」▶「文字入力機能」▶「学習履歴クリア」▶端末暗証番号を入力

ダウンロードした辞書を使用する

ダウンロード辞書

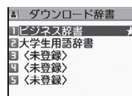
iモードのサイトなどからダウンロードした辞書を変換用辞書として設定します。

●ダウンロード辞書は5件まで登録できます。

●ダウンロード時は有効に設定されます。

●辞書のダウンロードのしかたについて→P.211

1 MENU▶「便利ツール」▶「ダウンロード辞書」



ダウンロード辞書画面(サブメニュー→P.437)

2 辞書を選択

有効に設定した辞書には「★」が付きます。

■ 無効に設定する場合
▶「★」が付いている辞書を選択
無効に設定されて「★」が消えます。

おしらせ

◆顔文字のダウンロード辞書を有効にすると、変換候補、予測候補のみ顔文字データが反映されます。

サブメニュー

❖ダウンロード辞書画面(P.437)

タイトル編集…選択したダウンロード辞書のタイトルを編集します。

辞書ファイル設定…ダウンロード辞書を有効または無効に設定します。

辞書情報…ダウンロード辞書の情報（初期タイトル、バージョン、製作者）を表示します。

1件削除、全削除…ダウンロード辞書を一件または全て削除します。

2タッチ方式で文字を入力する

2タッチ方式

2つのダイヤルボタンを押し、1つの文字を入力します。
たとえば「う」は、「あ行（あいうえお）」の3番目なので、[1][3]と押します。

- 文字割り当ての詳細については、「2タッチ方式で入力できる文字」（P.500）をご覧ください。
- 予測機能で予測候補を選択する方法、および入力したひらがなを目的の用語に変換する方法は、かな方式と同じです。→P.429

<例：「あきのきゃんぷ」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶全角入力モードにする

「全角入力モード（全）」になっていない場合は、[文字切替]で切り替えます。

2 ひらがなを入力

[1][1] あ　[2][2] き
[5][5] の　[2][2] き
[8][0] 小文字入力モード　[8][1] や
[8][0] 大文字入力モード　[0][3] ん
[6][3] ふ　[0][5] ゜（半濁点）

詳細編集
あきのきゃんぷ
▼選択 5
秋のキャンプ
秋のきゃんぷ
あきのきゃんぷ
アキノキャンプ ｱｷﾉｷｬﾝﾌﾟ

おしらせ

◆「濁点／半濁点」の入力や「大文字／小文字」の切り替えは[＊]でも行えます。

T9入力方式で文字を入力する

T9入力方式

少ないボタン操作（1文字1回）で文字を入力し、予測・変換候補の中から目的の文字や用語を選択します。
たとえば「春」と入力したいときは、「は行」の[6]、「ら行」の[9]を押し、表示された予測・変換候補の中から「春」を選択します。

- T9入力方式の入力補助機能として、予測・変換候補に目的の文字がないときに読みを正しくする「読み編集機能」があります。
- 文字割り当ての詳細については、「T9入力方式で入力できる文字」（P.501）をご覧ください。
- T9入力方式が働くのは、入力モードが「漢字ひらがな」「カタカナ」「英字」のときです。「数字」では自動的に「かな方式」になります。

<例：「春」と入力する場合>

1 文字入力（編集）画面（P.428）▶漢字ひらがな入力モードにする

「漢字ひらがな入力モード（漢全）」になっていない場合は、[文字切替]▶「漢字」で切り替えます。

2 文字を入力

[6]（は行）　[9]（ら行）

「は行」と「ら行」の組み合わせから予測できる予測･変換候補が表示されます。

詳細編集
ひる
#かな 23
昼 晴れ 減る 降る 春 針
降り 減り ほら 降れ
減れ 腹 掘る 風呂 掘り
平 惚れ 減ろ 放ろ ヘラ

■ 入力した文字が多すぎる場合

認識できない文字がグレーで表示されます。この場合、で変換範囲を変更すると、予測・変換候補も変更されます。

■ 予測・変換候補の表示を切り替える場合

漢字／かな：[#] 英語／日本語：

3

操作ガイダンスエリアにカーソルが表示され、変換候補が選択できるようになります。

詳細編集
はる
#かな 予測 5/ 23
昼 晴れ 減る 降る 春 針
降り 減り ほら 降れ
減れ 腹 掘る 風呂 掘り
平 惚れ 減ろ 放ろ ヘラ

■ 文字の入力に戻る場合

▶[CLR]

■ 反転した読みに対する予測候補を表示する場合

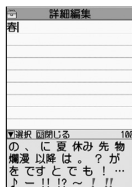
予測・変換候補を反転し、を押すと、反転した候補の読みに対する予測候補が表示されます。
たとえば「春」に対する予測候補としては、「春休み」「遥か」などが表示されます。

■ 反転した読みに対する変換候補を表示する場合

予測・変換候補を反転し、[変換]を押すと、反転した候補の読みに対する変換候補が表示されます。
たとえば「春」に対する変換候補としては、「張る」「貼る」などが表示されます。

4 予測・変換候補を選択

文字入力エリアに選択した用語が入力されます。



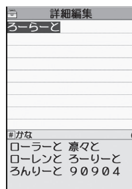
● 読みを編集する

<例：「らんらんと」と入力する場合>

1 文字を入力

9（ら行）、0（わ行）、9（ら行）、0（わ行）、4（た行）

この場合、予測・変換候補の中に「らんらんと」という文字はありません。

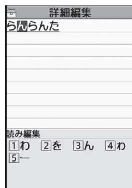


2 [読み]

読み編集モードになり、カーソルが先頭に移動します。操作ガイダンスエリアには、「ら行」の文字が表示されます。

3 入力したい文字の番号に該当するダイヤルボタンを押す

この場合1（ら）を押します。



文字を修正すると次の文字にカーソルが移動します。同じように操作して読みを修正します。

■ 読みを修正しない場合

▶で次に修正する文字にカーソルを移動

■ 途中で編集を終了する場合

▶[戻る]
終了時の読みに対する予測・変換候補が表示されます。

T9変換モードを設定する

T9入力方式で文字を入力するとき、入力候補を漢字やカタカナで表示するか、ひらがなで表示するかを設定します。

1 MENU ▶「本体設定」▶「文字表示／入力」▶「文字入力機能」▶「T9かな／漢字切替」▶「漢字」または「かな」

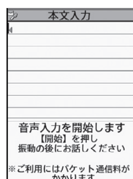
音声で文字を入力する

音声を文字に変換してメールの作成やクイック検索を行います。

- 音声入力メールはお申し込みが必要な有料サービスです。はじめて音声入力サービスをご契約された日から30日間はサービスを無料でご利用いただけます（お申し込みにはｉモード契約が必要です）。音声入力メールの利用には、別途パケット通信料がかかります。詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 音声での入力は、以下の機能で利用できます。
  - ｉモードメールの題名、本文入力
  - クイック検索のキーワード入力
  - SMSの本文入力（「SMS設定」で「本文入力設定」が「日本語入力（70文字）」の場合のみ）
- 以下の場合などは、音声を認識しないことがあります。
  - 周囲の雑音が大きい場合
  - 発声が明瞭でない場合
  - 発声が中断された場合
  - 発声の前後に咳払いをしたり、雑音を出した場合
  - ボタンを押したり、こすったりした場合
- イヤホンマイク（別売）などの使用時はマイク部分を口に近づけて発声してください。

<例：メールの本文に音声で「お元気ですか」と入力する場合>

1 メールの本文入力画面（P.150）▶MENU［サブメニュー］▶「音声で文字入力」



音声入力開始画面

通信を開始するかどうかの確認画面が表示された場合は、「YES」を選択します。「YES（以後非表示）」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

2 ■［開始］

バイブレータが振動しますので、音声入力を開始します。

■ 音声入力を終了する場合

▶📷［終了］

メールの本文入力画面に戻ります。

■ 音声入力についての注意事項などを表示する場合

▶✉［ガイド］

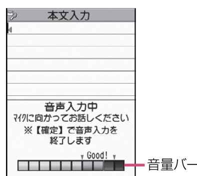
3 「お元気ですか」と発声する▶■［確定］

30秒以内に発声してください。

クイック検索から起動した場合は、10秒以内に発声してください。

約3秒間無音となった場合は、自動的に音声の入力は終了します。

発声した音声の音量が音量バーに表示されます。



音声入力中画面

音声入力後はバイブレータが振動し、音声入力メールサーバと通信して音声が文字に変換されます。変換が完了すると、変換された文字と変換候補が表示されます。

■ 音声入力を中断する場合

▶📷［中止］またはCLR

バイブレータが振動し、音声入力開始画面に戻ります。

4 変換された文字を確認する

で文節を移動します。変換範囲を変更することはできません。

■ 変換候補から選択して入力する場合

▶▶変換候補を選択

■ 再入力する場合

▶📷［再入力］▶「YES」

音声入力された内容を破棄し、音声入力開始画面に戻ります。

■ 通常の文字入力で編集を行う場合

▶✉［編集］

入力内容をすべて確定し、メールの本文入力画面に戻ります。

5 ［全確定］

入力内容をすべて確定し、音声入力開始画面に戻ります。

最後の文節を反転表示しているときに■［確定］を押しても入力内容がすべて確定されます。

おしらせ

◆音声入力メールで文字変換したときに表示される変換候補と通常の文字入力で表示される変換候補では、表示される内容が異なります。